

「高知県橋梁会 平成 26 年度 第 1 回研修会」報告

高知県橋梁会理事 濱田 博人

土木学会四国支部と高知県橋梁会の共催による高知県橋梁会 平成 26 年度 第 1 回研修会が、去る 2014 年 4 月 18 日（金）に高知会館の「飛鳥の間」で開催された。

研修会では、企業による新技術や外国のインフラ整備状況の紹介、四国地方整備局 四国技術事務所 谷脇準蔵副所長による新技術活用システムについての活用方法の説明があった。さらに、高知県の技術者の貴重な話を聞く試みとして、株式会社高知丸高 高野広茂社長と高知県橋梁会 右城会長との対談も行われ、6 テーマの講演で総勢 71 名が参加した大変有意義な研修会となった。

■研修会（13：30～16：55）の内容

平成 26 年度 第 1 回研修会に先立ち、右城会長より講演内容の説明に加えてこれからの業界の動向について話があった。



右城会長による開会の挨拶

最初の講演は、JFE エンジニアリング(株)平本高志氏より、「鋼橋の塗膜剥離工法（EPP 工法）と合成床版橋（リバーブリッジ）」と題して技術紹介があった。EPP 工法については、塗膜を剥ぎ取る方法として従来のブラスト工法等より、安全に作業を行うことができ、工期の短縮も図れる工法として説明があった。



平本高志氏による講演

2 番目のテーマは、(有)坂本鉄工所 坂本洋一氏、(株)鉄建ブリッジ 下川雅也氏より、「陸閘（横引きゲート）ガス圧式自動開閉装置」と題して技術紹介があった。安全な窒素ガスを用いて、ゲートを自動開閉させることにより、従来の手動による開閉に比べ時間が短縮できることに加え、設置についても容易にできるとの説明があった。



坂本洋一氏による講演



質疑を行う右城会長

3 番目のテーマは、(株)第一コンサルタンツ 矢田康久氏より、「ネパール人の生活と道路」と題して現地の生活やインフラ整備状況の説明があり、今後は信号機、道路標識、舗装等の整備を進めることが必要であるとの話があった。



矢田康久氏の講演

4 番目のテーマは、四国地方整備局 四国技術事務所 谷脇準蔵副所長より、「公共工事等における新技術活用システム」と題して活用方法、申請方法についての説明があった。



谷脇準蔵氏による講演

5 番目のテーマは、(株)高知丸高 高野広茂社長より、「津波災害防災に備えての 10 年間の取組と建設業の取り組むべき大災害後の復旧・機械開発」と題して今までの取り組みや今後についての説明があり、災害・防災に有効な新技術や施工事例等の紹介があった。



高野広茂氏の講演

6 番目のテーマは、「高野広茂社長 技術者人生を語る」と題し、(株)高知丸高 高野広茂社長と右城会長と対談形式で講演が行われた。実体験に基づく貴重な話や仕事への取り組み方についての話があり、加えて技術者へのメッセージも頂いた。



高野広茂氏と右城会長の対談



聴講する参加者

■定例総会（17：00～17：20）の内容

研修会終了後、同会場平成26年度の定例総会を開催した。正会員40社のうち29社の出席があった。定例会では、平成25年度の事業報告・収支決算報告・監査報告、平成26年度の事業計画・収支予算案の議題が満場一致で承認された。その他では、監事・理事兼人としてショーボンド建設(株)清水敦史氏を承認した。



吉田副会長による閉会の挨拶



司会を担当した濱田理事



右城会長による司会進行



森下監事による監査報告



総会状況

■懇親会（17：30～20：00）の内容

定例総会終了後、会場を飛鳥の間に移して懇親会を開催した。参加者は45名であった。まず、開会の挨拶を右城会長、来賓の挨拶を高野光二郎名誉会員（参議院議員）の秘書向井和至氏（代読）、新入会員ランデスソーケン(株)の紹介を行った後、西岡顧問による乾杯の音頭で懇親会を開始した。懇親会の間では、右城会長の著書である「土木技術に魅せられて」5冊を抽選で出席者に贈呈した。



右城会長による挨拶



高野議員秘書による来賓挨拶



新入会員による挨拶



西岡顧問による乾杯挨拶



歓談の様子



武内理事による中締め

懇親会終了後、二次会を居酒屋葉牡丹で行った。7名の参加となったので、次回はぜひ多くの方々の出席をお願いします。

以上